



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

中小企業経営者の高齢化と事業承継の集中支援

安倍内閣が発足してから4年が経ち、名目GDPは47兆円増加、中小・小規模事業者の倒産は26年ぶりの低水準となるなど、経済の好循環は着実に回り始めています。この好循環を加速させ、地域の中小企業・小規模事業者の持続可能でより良い未来を創ることが特に重要です。

その中でも、事業承継問題は、日本経済にとって待ったなしの課題です。今後10年で、中小企業経営者の約6割の経営者が70歳を超えることが予想され、そのうち、約半数は後継者が決まっています。この状況を放置すると、日本経済の屋台骨を揺るがす事態になってしまいます。

これは地方ほど深刻な問題であり、宮城県でも中小企業経営者の60歳以上の比率は55.7%です(47都道府県中15番目)。県内の水産加工業者の組合や伝統工芸品の組合においても、後継者不足を原因として倒産・廃業が増加している傾向が見られます。せっかく良い技術や経営資源を持っているにも関わらず、後継者難によって廃業してしまうことは、県内のみならず国家としても大変な損失となります。

私は党の政務調査副会長として、この問題を深刻に捉え、衆院選の公約においても、「中小企業・小規模事業者の円滑な世代交代・事業承継に資するよう、税制を含めた徹底した支援を講じます」と明記しました。

具体的には、地域の支援機関が結集して事業承継支援体制を構築する「事業承継ネットワーク構築事業」の全国展開(宮城県においては「みやぎ産業振興機構」が事務局となり29年度より開始)、後継者不在の中小企業に対して後継者マッチング等の支援を行う「事業引継ぎ支援センター」の機能強化(宮城県では同機構が事務局)、事業承継を契機に経営革新等の新たな取組を行う中小企業に対して設備投資等の支援を行う「事業承継補助金」の拡充など、さらに強化してまいります。

税制面では、非上場株式に係る相続・贈与税を猶予する事業承継税制のさらなる拡充を実現します。本税制は、これまで様々な見直しを行ってきたものの、厳しい要件により利用が進まず、利用実績は年間500件程度に留まっております(税制利用可能な企業は年間5千~7千と推計)。

現在、①自主廃業や要件未達の際に遡って課税される納税猶予制度、②人手不足の中で5年間平均8割の雇用維持を求める雇用要件、③発行済み株式数の上限(2/3)、④1人の現経営者から1人の後継者への相続・贈与のみを対象とする対象者要件等について、抜本的見直しを要望しており、来年度から実現される見通しです。これによって利用数が飛躍的に伸びることが期待されます。

加えて、中小企業のM&Aを通じた承継を促進するための優遇措置の創設等の要望も行っております。こういった事業承継支援にしっかり取り組み、経営者の円滑な若返りを促すことで、地域経済の活性化、そして、「生産性革命」を着実に実現してまいります。

衆議院議員 秋葉賢也
政務調査副会長

宮城県での事業承継に関するお問い合わせ先

〈みやぎ産業振興機構〉 事業引継ぎ支援センター
事業承継ネットワーク事務局
連絡先:022-222-1310(代)

愛する街だから必死になれる! 秋葉賢也は走り続けます!!



臨時国会スタート! 秋葉代議士、6期目の初登院!

11月1日、秋晴れの下、特別国会が召集されました。皆さんのお蔭で、6期目の初登院となりました。



衆議院本館正門入り口にある名札プレートの前で、記者団から写真撮影を求められる秋葉代議士。



当選証書を手に正面階段前にて



衆議院本館正門の入口では、衆議院議員バッヂを授与。



与野党一騎打ちの厳しい選挙戦を振り返りながら、地元放送局の取材に応じる秋葉賢也代議士。



経済成長と分配の好循環を実現するために、自民党政調副会長として、「全世代型」社会保障の構築に向け、全力で取り組みます!



秋葉政調副会長に聞く! 平成29年版 厚生労働白書

厚生労働省は、10月下旬、平成29年版厚生労働白書を閣議に報告、閣議了承を得ました。29年度版厚生労働白書のポイントについて、秋葉政務調査副会長に伺いました。

Q.平成29年版厚生労働白書のポイントは、何ですか?

A 今回の白書のテーマは、副題にもある「**社会保障と経済成長**」です。安倍政権は「成長と分配の好循環」の実現に向け取り組みを進めていますが、今回の白書は、成長の視点から「**社会保障のあり方**」を考える為の基礎資料を提示したものといたします。

Q.白書の資料から、成長と分配の好循環を実現する「社会保障のあり方」について、秋葉政調副会長はどう考えますか?

A 今回の白書から言えることは、わが国の所得再分配構造において、**給付・負担の両面で高齢世代が現役世代より手厚くなっている**という点にあります。従って、成長と分配の好循環を実現するための「**社会保障のあり方**」として、①「**全世代型**」社会保障への転換による現役世代が安心感を持てる**社会保障の構築**、②**多様な個人の能力発揮の促進**、③**技術革新による医療介護の生産性と質の向上**等が求められます。

250kgを超える大マグロの解体でも手際よく捌く木村社長の職人としての姿に感激を隠せない秋葉代議士。

すしざんまい代表 木村社長 主催 (秋葉賢也東京後援会会長) マグロ解体ショー に、お招きいただきました。



11月1日、赤坂御苑で開催された「秋の園遊会」に出席した秋葉ご夫妻。馳元文部科学大臣ご夫妻等と懇談し、久しぶりに穏やかな時間を過ごしました。

秋の園遊会



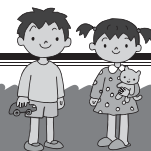
公明党の山口代表と



新藤元総務大臣と

秋葉政務調査副会長 Active Photography

自民党政務調査会で、関係政府から説明を受ける秋葉政務調査副会長



みなさんの **疑問** にお答えします!

- Q1 幼児教育・保育の無償化って?
- Q2 復興加速化(二重ローン対策)は?

10月の衆議院選で自民党の公約に掲げられた政策のうち、「幼児教育・保育の無償化」と「復興加速化」について、秋葉政務調査副会長に答えて頂きました。

健康被害や 購入トラブルに ご注意ください!

秋葉政務調査副会長 教えて! /

健康食品の 利用上の注意

Q1 サプリメント等の健康食品の飲用による健康被害が急増という記事を目にしましたが、本当なのですか?

▶はい。国民生活センターの調べによれば、健康食品による健康被害の訴え数は、平成26年度583件、平成27年度898件に増加、さらに**平成28年度は1866件と、平成26年度の3倍、平成27年度の2倍に急増**しています。健康被害の内容としては、皮膚障害、体調不良、消化器障害が多くなっています。

Q2 サプリメント等健康食品の購入トラブルって?

▶国民生活センターによると、健康食品の定期購入トラブルは、平成27年度4352件だったのに対し、**平成28年度は1万85件(前年比2.3倍)**に急増しています。購入をめぐるトラブルの中で多いものとして、「『お試し』のつもりで申し込みをしたのに実際は定期購入契約になっていた」というトラブルや「解約しようとして電話をしても電話が繋がらない」等のトラブルが挙げられます。

Q3 サプリメント等の健康食品を利用する場合、私たち消費者はどのようなことに注意すればいいのでしょうか?また、政府はどのような対応をとっているのですか?

▶消費者庁は、『健康食品 Q&A』を作成・公表し、健康被害を避けるために、消費者の注意喚起を促しています。

健康食品を利用する場合には、次の点にご注意下さい。

- ①錠剤・カプセル状の製品は過剰摂取しない。
- ②広告のキャッチコピーや利用者体験談ではなく、自分で製品の成分の安全性と有効性を確かめる。
- ③知人から得た情報は情報源を辿り正確性を確かめる。
- ④製造者、連絡先、製品の個別成分含有量の記載の有無。
- ⑤医薬品的な効果を期待して利用しない。
- ⑥健康食品の利用で不調を感じたら、専門家に相談する。
- ⑦高価な製品がより効果があるとは限らない。

また、国民生活センターによれば、**購入トラブルを回避する**為に、「商品注文前に、契約内容や解約条件について十分に確認してから、商品購入の必要・不要について慎重に判断する」よう、消費者の注意喚起を促しています。是非、皆さんもお気を付け下さい。

Q1.「保育の無償化」の対象について、自民党の公約内容と政府の検討状況について教えてください。

A.衆議院総選挙で自民党が公約に掲げた「**幼児教育・保育の無償化**」について、公約策定当時、対象を認可保育施設の利用者(3歳~5歳児の保護者)に限定していましたが、現在、政府与党では、認可・認可外を問わず、国や地方自治体が保育料を設定している(公定価格)施設についてすべて無償化の対象とする方向で検討を進めています。

また、所得の低い、住民税が非課税となっているご家庭のお子さん(0歳から2歳児)も保育費を無償とする方向です。

Q2.震災復興の課題の一つ、『二重債務問題』について、自民党ではどんな検討がなされているのでしょうか?

A.東日本大震災で被災し、二重ローンを抱える事業者の再生のため、議員立法で平成23年11月に『**東日本大震災事業者再生機構法(「機構法」)**』を成立させ、回機構が、二重ローンを抱える事業者に対して、金融機関等から債権を買い取り、債務免除を行う等を通じ、事業者の再生を支援するシステムを構築し、二重ローン問題への対応を進めて参りました。

更に、被災自治体や被災商工団体からの強いご要望を受け、**自民党では、支援決定期間を平成32年度末(平成33年3月31日)まで延長する『機構法改正案』を議員立法として今国会に提出する予定です。**

被災事業者の経営再建・経営状況に基づく議員立法により震災復興の加速化を図ります。



機構は、これまで①相談件数2716件(うち支援決定件数729件)、②機構が買い取った債権の約5割を債務免除とするなど実績を上げています。被災事業者の再生のために機構の支援継続を国が後押しすることが必要です。

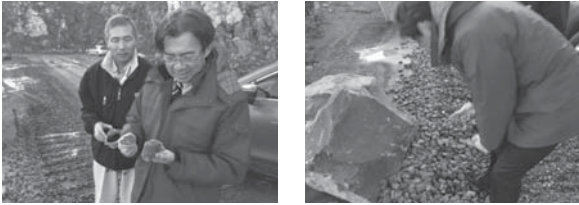
ペルー大統領夫人 来日記念夕食会



駐日ペルー大使館のフォルサイト大使主催でクチンスキ大統領夫人来日記念の夕食会が開催され、秋葉政務調査副会長も出席させて頂きました。

クチンスキ大統領夫人との会話、ペルーの音楽や文化に触れ、素晴らしい時間を過ごすことができました。

東京石灰工業株式会社 丸森工場の砕石場視察



生まれ故郷の伊具郡丸森町にあります、東京石灰工業株式会社丸森工場へ砕石場の視察にうかがいました。穿孔、破碎選別等の各現場を説明を受けながらしっかりと拝見させていただきました。

ここ丸森の砕石場で採れる石は、道路や線路のバラスト、コンクリートの骨材等、様々なところへ出荷され、利用されています。丸森の花崗岩は良質で鉄分が少なく、錆びにくい為、コンクリートの骨材には最適で、家の建て替えの際、丸森の石を使って欲しいと指定される方もいらっしゃるかと。

また丸森町は、良質な御影石が採れ、日本有数の墓石の産地として有名です！砕石産業の現状や課題をしっかりと把握し、今後の政策に反映させて参ります。

視察当日は、宮城県砕石協会、東京石灰工業の皆様は大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

タウンミーティング

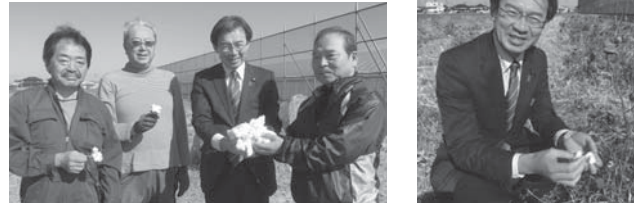
(国政報告会)

- 12月15日(金) 18:00 **泉区** 長命ヶ丘市民センター (長命ヶ丘2-14-15)
- 12月16日(土) 18:00 **若林区** 沖野コミュニティセンター (沖野3-30-1)
- 12月22日(金) 19:00 **宮城野区** 新田コミュニティセンター (新田2-11-30)

現地現場主義

秋葉代議士は初当選以来、金帰月来《金曜夜に仙台に帰り、月曜朝駅頭演説を夜に東京に戻る》を続けています！

東北コットンプロジェクト



(株)荒浜アグリパートナーズの渡邊社長と懇談し、「東北コットンプロジェクト」(震災後、稲作が困難になった農地で塩害に強いとされる綿を栽培し、紡績・商品化・販売までを一貫して行い、6次産業化を目指している)の現況を視察させて頂きました。国も引き続き被災農家を支援して参ります。

耳より情報

のびすく若林開館

乳幼児親子を対象とした子育て支援施設で、子どもと一緒に過ごせる交流スペースやひろば、乳幼児の一時預かり子育てに関する相談や情報提供などを行います。今回の開館により以下の市内5区全てにのびすくが整備されました。



- のびすく仙台 青葉区中央2丁目10番24号 仙台市ガス局ショールーム3階 TEL 022-726-6181
- のびすく宮城野 五輪2丁目12-70 仙台市原町児童館内(宮城野区文化センター等複合施設1階) TEL 022-352-9813
- のびすく若林 保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟等複合施設2階 TEL 022-282-1516
- のびすく長町南 長町7丁目20-5 ララガーデン長町5階 TEL 022-399-7705
- のびすく泉中央 泉中央1丁目8-6 仙台市泉図書館3階・4階 TEL 022-772-7341 (3Fひろば・託児室)

詳しい利用時間、休館日等は各施設にお問合せください。

二柱神社の秋季例大祭



わが家の氏神様である二柱神社の秋季例大祭に出席いたしました。当日は天候にも恵まれ、多くの方々で大賑わいでした。参加される方も年々増加傾向にあるそうで、地域の活性化に一役買っています。

~ kenya's PLOFILE ~

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- 助松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(3期)、総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、東日本大震災復興特別委員長を務める。現在、衆議院議員(6期目)、自民党政務調査副会長。
- 母校の中央大学商議員や保護司のほか、東北医科薬科大学講師も務める。
- 著書:『健康寿命-60のヒント-』(東京書籍)、『厚生労働省改造論』(イースト新書)、『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)ほか。
- 特技:書道二段・空手初段。
- 趣味:ジョギング・音楽・映画。
- 尊敬する人:マザーテレサ、松下幸之助。



秋葉賢也 事務所 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477 Fax 022(375)0057
www.akiba21.net 購読料 年額10,000円 編集 株式会社ジャパン